

関市の環境トピックス-1

～インクカートリッジ回収事業の開始～

～市内小中学校に資源回収ボックスを設置～

〈インクカートリッジ回収事業の開始〉

令和2年10月1日より、ごみの低減、資源の有効活用に繋げるため、ジット株式会社の協力により、インクカートリッジの回収を開始しました。回収品目は一般家庭から排出されたすべてのインクカートリッジです。市役所環境課、西部支所、各地域事務所、わかくさ・プラザ学習情報館、洞戸ふれあいセンター、板取ふれあいセンター、武芸川生涯学習センター、武儀生涯学習センター、上之保生涯学習センターで回収しています。インクカートリッジは回収後に、新たなリサイクルインクへと生まれ変わり、焼却処分するよりもCO²発生を抑制できます。



〈市内小中学校に資源回収ボックスを設置〉



一部の市内小中学校とPTAの協力により、常設の資源回収ボックスを設置しました。

令和2年度に新設した学校は10校（22基）です。（3月設置予定分も含む。）ボックスを設置し、リサイクル推進のために利用していただくことで、市民サービス、リサイクル意識の向上に努めるとともに、資源の有効活用に繋がることが期待されます。

関市の環境トピックス-2

～市役所周辺自然観察会（昆虫編）開催～



小学生親子を対象に、身近な場所に生息する昆虫や植物の観察を通じて自然に対する感受性や関心などを培い、環境保全のための行動について親子で考えることを目的として、令和2年10月11日（日）市役所周辺にて、岐阜・美濃生態系研究会

を講師として、「市役所周辺自然観察会（昆虫編）」を開催しました。

当日は、子ども16名、保護者12名の合計28名の参加があり、3グループに分かれて、市役所周辺の生き物の観察と講師による解説を行いました。アキアカネやオオアオイトトンボなどのトンボや、ツマグロ



ヒョウモンなどのチョウ、ツチイナゴ、オオカマキリなど、予想以上に多くの種類の昆虫を観察することができました。

「市役所の周りにもこんなにたくさんの種類の虫や花がいたことに、とても驚いた。」
「大人も知らないことだらけでとても興味深い時間を過ごせた。」など、親子で自然にふれあい、環境のことに興味や関心を持ってもらうきっかけづくりになりました。

関市の環境トピックス-3

～関川生き物調査の開催～



地域に即した環境教育を行い、市民の環境への関心を高め、環境美化や環境保全を意識した行動に結びつけることを目的として、令和2年10月18日（日）に関川蛍橋周辺にて、環境ネットせき、

関ホテルの会、ふるさと自然再生研究会の協力のもと、「関川生き物調査」を行いました。

当日は子ども20名、保護者17名の合計37名の参加があり、肌寒い季節ではありましたが、子どもたちは元気に川に入り、講師による解説にも熱心に耳を傾けていました。



また、川に捨てられていたごみを拾い、川に生息する生き物と川の美しさを守ることの大切さについても考える良い機会となりました。